

U.S. Indicators

米国 製造業受注は緩やかに回復（16年10月製造業受注・出荷・在庫）

2016年12月8日（木）

～自動車、船舶、電子部品等は好調～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

製造業受注 (Manufacturers' Shipments and Orders)											
	出荷			受注				在庫			
	除く輸送機器			非国防資本財 除く輸送機器	除く輸送機器			非国防資本財 除く輸送機器	除く輸送機器		非国防資本財 除く輸送機器
16/01	▲0.1	▲1.2	(▲2.8)	▲1.5	+0.9	▲0.6	(▲3.9)	+2.4	▲0.3	▲0.5	▲0.6
16/02	▲0.6	▲0.5	(▲3.5)	▲1.6	▲1.9	▲0.8	(▲5.2)	▲2.1	▲0.4	▲0.4	▲0.4
16/03	+0.3	+0.9	(▲4.1)	+0.0	+1.7	+1.0	(▲4.3)	+0.3	▲0.1	▲0.0	+0.1
16/04	+0.4	+0.3	(▲3.5)	+0.6	+1.8	+0.3	(▲4.0)	▲0.9	▲0.1	▲0.1	▲0.6
16/05	+0.1	+0.2	(▲3.1)	▲0.7	▲1.2	+0.2	(▲3.3)	▲0.6	▲0.1	▲0.0	▲0.5
16/06	+0.6	+0.5	(▲3.5)	▲0.4	▲1.8	+0.4	(▲4.4)	+0.5	▲0.0	+0.2	+0.2
16/07	▲0.4	▲0.4	(▲3.2)	▲0.7	+1.4	▲0.1	(▲2.8)	+0.8	+0.2	+0.2	+0.2
16/08	+0.2	+0.4	(▲1.8)	+0.1	+0.4	+0.3	(▲1.3)	+1.2	+0.1	+0.2	+0.2
16/09	+0.9	+0.6	(▲0.6)	+0.5	+0.6	+0.6	(▲0.1)	▲1.5	▲0.1	▲0.1	▲0.0
16/10	+0.4	+0.7	(+0.4)	▲0.1	+2.7	+0.8	(+0.5)	+0.2	+0.0	+0.0	▲0.3

10月の製造業受注は前月比+2.7%、除く輸送機器が同+0.8%と加速

16年10月の製造業受注は、前月比+2.7%（前月同+0.6%）と前月から急増した。一方、変動の大きい輸送機器を除いた製造業受注は、前月比+0.8%（前月同+0.6%）と小幅の加速となっていることから、製造業受注は緩やかな回復傾向を辿っていると判断される。

業種別では、一次金属、家具・関連製品が減少に転じたうえ、一般機械が鈍化した。一方で、加工金属、コンピューター関連が増加に転じたほか、電気機械関連、輸送機器が加速した。また、非耐久財がプラス幅を維持した。規模の最も大きい輸送機器では、自動車が一時的に減少したが、民間航空機が加速したほか、軍用航空機が増加に転じ、船舶が減少幅を縮小した。

3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では、10月の製造業受注が+8.3%（前月+0.8%）、輸送機器を除く製造業受注が+4.4%（前月+2.6%）とともにプラス幅を拡大しており、製造業受注の勢いは増している。特に、自動車、金属加工機械、電子部品、電子計測・制御装置、電気照明設備、船舶などが堅調さを維持している。

10月の非国防資本財出荷が前月比▲0.1%と減少した一方、受注が同+0.2%と増加した

設備投資関連では、機械設備投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）が10月に前月比▲0.1%（前月同+0.5%）と失速した。しかし、7－9月期比年率では+1.0%と7－9月期の前期比年率▲3.9%からプラスに転じている。また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では▲0.9%（前月▲3.9%）とマイナス幅を縮小しており、10－12月期の機械設備投資の下げ止まりを示唆している。

一方、機械設備投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は、10月に前月比+0.2%（前月同▲1.5%）と小幅の増加にとどまった。また、7－9月期比年率では▲1.5%（7－9月期の前期比年率+4.8%）と減少に転じている。ただし、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+3.9%（前月+4.8%）とプラスを維持しており、11、12月に出荷が回復することを示している。機械設備投資は、原油価格の上昇、生産活動

の回復等を背景に、今後減少幅を縮小していくものの、ドル高の進展により回復が後ずれする可能性が高い。

